

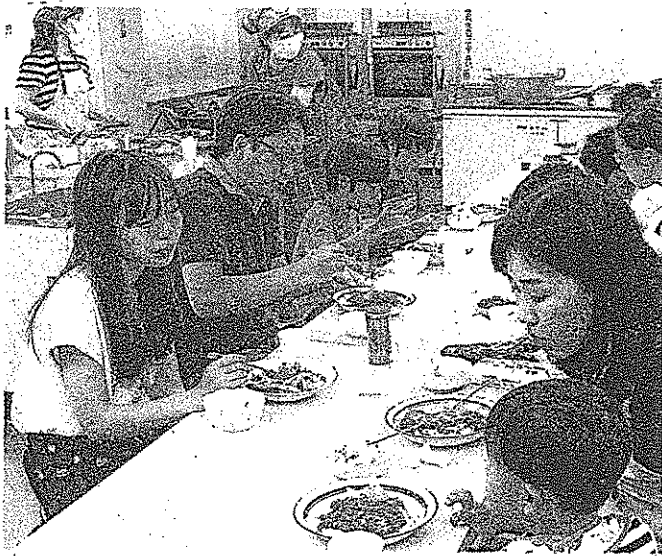
7/30 日 福

貧困家庭などの子どもたちに無償でご飯を提供する「子ども食堂」が、全国で続々と設立されている。運営団体によると、今では300カ所

を超えると思られる。お菓子を送ったり、髪の毛を無料でカットしたりする別の支援も広がっている。
(白井康彦)

「子ども食堂」広がる活動

身近な料理でボランティア



おいしそうに食べる親子。子どもの喜ぶ様子がボランティアの人たちに元気を与えているという＝浜松市東区の長上協働センターで

今月二十三日の夕方、浜松市東区にある地域のコミュニティ拠点「長上協働センター」。シヨートパスターのミートソースとポテトサラダがテーブルに並べられると、子どもたちから「おいしそう」と歓声が上がります。歓談しながら平らげた。テーブルを囲んだのは、

父子家庭の十一家族二十八人。「お父さんが作る料理はいつも同じだし、帰りが遅いときは自分たちで作るんです」と中学生の女子生徒は話す。

貧困家庭を支援 菓子配布、髪カットも

開催したのは、同市のNPO法人「サステナブルネット」。六月から毎週土曜日に続け、今回が八回目だ。料理を作ったボランティアの女性は「子どもたち

が楽しむので、やりがいがあります」と声を弾ませる。子どもの貧困が社会問題になるにつれ、子ども食堂が手軽にできそうなボランティア活動として注目され

ている。サステナブルネット代表の渡辺修一さん(金邑)によると、子ども食堂を始めてから、個人からの寄付が集まるようになった。「子ども食堂を始めたが、どのようになればいいか」という問い合わせもあるという。ただ、定期的に活動を続けるには壁にぶつかる団体

が多い。渡辺さんは「活動資金の確保が最大の課題です」と打ち明ける。同会は浜松市からの助成金が主な財源だ。

子ども食堂とは別の方法で、子ども支援を実行する

一方、三重県四日市市的美容院「ヘア・デザイン・アハト」は七月から、小学生以下の子どもの前髪を無料でカットするサービスを開始した。代表の山川順子さんも「子ども食堂の考え方に賛同して、自分たちができることを考えた」と話す。塾に通えない子に勉強を教える学習支援活動を行う団体も多い。

愛知県司法書士会は8月7日午後1時から、名古屋市中区栄4の中区役所ホールで、市民公開講座「知ることから始めよう『子どもの貧困問題』」を開く。N

子どもの貧困問題 7日
名古屋で市民講座

HKプロデューサーの板垣淑子さんが基調講演。貧困世帯の子どもの支援活動をしているNPO関係者らと討論する。無料。問い合わせは、同会市民公開講座係＝電052(683)6683＝へ。

人々も増えている。愛知県春日井市の林昌寺は昨年、檀家から提供されたお菓子などを子どもに配る「おやつクラブ」を始める。仲間の寺院関係者が寺の本堂に月一回集まり、菓子や米などを段ボール七、八箱に詰める。副住職の野田芳樹さん(二六)は「檀家からいただいたお菓子を食べきれないことも多い。こんな形で支援できれば」と話す。野田さんによると、全国二百八十五の寺院がおてらおやつクラブに参加しているという。